

出張医学教育FD(小諸高原病院)

【日時】 平成25年12月11日 17時30分～ 18時00分

【場所】 小諸高原病院

【参加人数】 9名

【内容】

○卒前クリニカルクラークシップの現状

- ・見学型臨床実習(ポリクリ)と参加型臨床実習の違い等

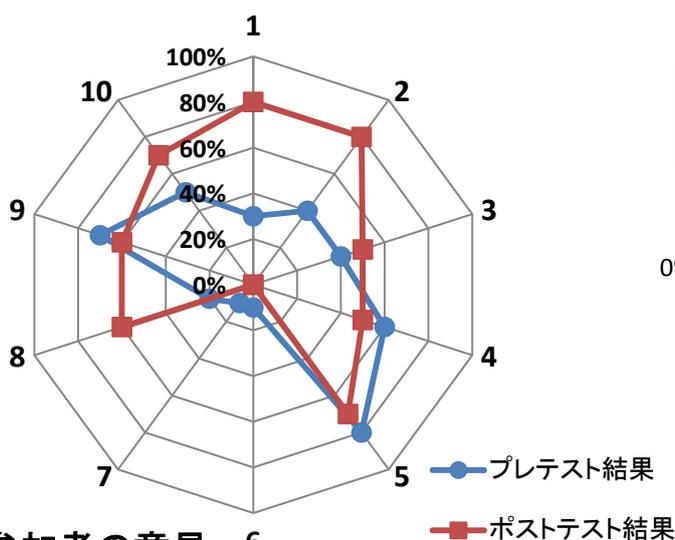
○信州大学における今後の臨床実習

- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について

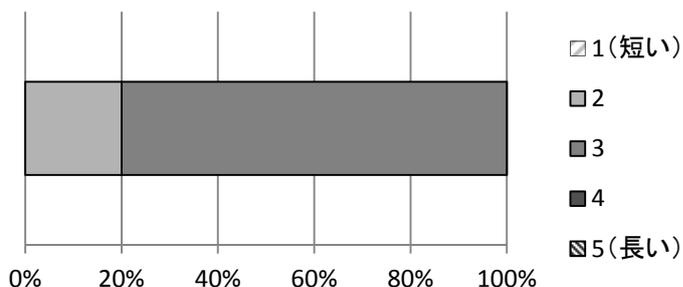
○DVD映像で見る参加型臨床実習



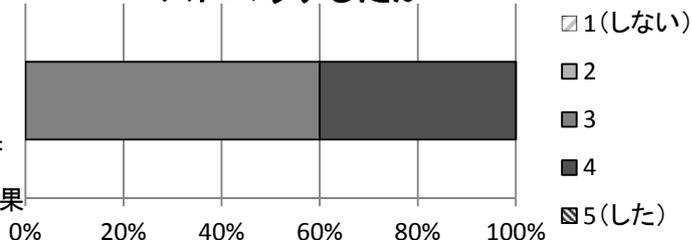
医学教育についての理解度



時間



ニーズにマッチしたか



参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
ポリクリとクリニカルクラークシップの違いが理解できた。	事前実習能力のチェックが必要。	良い方向性だと思います。
医師の質の向上が学生の段階から必要であることに賛同できた。	具体的な施策。	テンポが良く、わかり易い説明でした。
学生のレベルアップが必要。	学生を迎え入れる状況がイメージできない。	良いシステムだと思います。
新しい仕事が増えること。		遠いところありがとうございました。
臨床実習の世界的流れ。大学の目標としての内容。		実施の方向で進む。随時、問題点をフィードバックし、新たなバージョンへ。
専門知識に臨場感が加わって良いと思う。		早期教育は必要と思うが、一方で学生時代は勉強だけでなく、様々な経験(医療以外でも)をしておいたの方が案外、いい医療をしたりする。どんな経験でも医療人としてはプラスになり、ドクターは一生涯、医療の勉強をしていかないとけない。ポリクリだけが教育ではないと思う。
医学教育の現状と傾向。(複数意見) 研修システムを理解できた。		
実習の必要性。学生の頃から臨床に関わることの重要性。(複数意見)		